

# THE WEEKLY NEWS OF FUTTSU-CHUO

世界へのプレゼントになろう  
Be a Gift to the World



「どう生きるか」諸事を見直して  
実践しよう

国際ロータリー会長 K. R. ラビンドラン 2015～2016 富津中央RC会長 千葉 一利  
国際ロータリー 第 2790 地区 富津中央ロータリークラブ 創立:1966/10/13 加盟承認:1966/12/12  
RI D2790 FUTTSU-CHUO ROTARY CLUB Organized : Oct./13/1966 Chartered : Dec./12/1966

No.2444 第47回例会 2016. 6. 16 雨

点 鐘：千葉一利 会長  
進 行：白石幸久 SAA  
ソング：手に手つないで

## 会長挨拶

千葉一利 会長



皆さんこんにちは。舛添都知事がとうとう辞職しました。小さい時父親を亡くし、母親の手一つで兄弟が育てられました。住んでいた近くに会社の重役たちの宿舎があり、それを見て「あのようになりたい」と思っていたのではないかとされています。そうしたことが舛添さんの生活の仕方(生き方)に影響したものと考えられます。

今日はこの一年間のロータリー活動の総括をする日です。正直な評価をお願いします。私の総括は3クラブ合同例会の折に発表しましたので省きます。ただしその内容は週報5月12日号に載っていますのでご覧いただきたいと思います。この一年間50周年の準備、例会場の移転、各委員会の活動

など大変でした。クラブの方針、ロータリーの目的に照らしてどうだったでしょうか。こんな老人会長を支えてくれた高橋幹事をはじめ役員、そして会員の皆さんの大きな協力に感謝の意を表します

なお、榎本今年度の五十周年行事の成功を祈念し、小野ガバナー補佐のご活躍を期待します。渡辺幹事、須藤分区幹事の協力をお願いします。

今日は雑学講座の第8回の解説をします。この講座も今日で最終回となります。協力ありがとうございました。

## 雑学講座

1. 1つのコンセントでどのくらいのワット数に耐えられるか。  
一般家庭では15アンペア(1500ワット)のコンセントが主流。それ以上使うと火災の原因となる。
2. N極とS極に挟まれた真ん中は何極か。  
真ん中は何極でもない。ただ真ん中から切ると切ったところはN・S極となる。
3. 消せるボールペンを知っていますか。その仕組みは？  
ボールペンの中に「変色温度調整剤」というものが入っていてそれが65度以上になると消える。(ペンの尻についているラバーで擦る)
4. 「埒が明かない」の埒とは。  
物事の決まりが付かない、決着がつかないことを言う。「埒」はかこい、しきり。(馬場の周囲の

〒293-0043 富津市岩瀬 841-3  
いち川旅館 Ichikawa ryokan  
841-3 Iwase Futtsu-shi Chiba-ken,  
Tel. 0439-65-0177 Fax.0439-65-0178  
URL <http://www.futtsuchuo-rotary.org>  
Mail [home@futtsuchuo-rotary.org](mailto:home@futtsuchuo-rotary.org)



柵のこと)

5. 「税があがらない」の税とは。  
出世しない。金銭に恵まれない。税は梁の上に立てる棟木を支える小さい柱。(棟上げのことを税があがると言っていた)
6. 防弾チョッキはどうして作られているか。  
チョッキの中に鉄のワイヤーの5倍の強度を持つ特殊繊維「ケブラー」が織り込まれている。
7. 船の煙突(ファンネル)について知っていること  
船の動力は石炭からジーゼルに。従って大きなファンネルは不要。「優美でカッコいい船」「化粧煙突」となった。
8. 陶器と磁器のちがい。  
陶器は粘土から作る。益子、笠間～やや厚めでどっしりしている。磁器は陶石を砕いた粉で作る。有田、九谷～うすくきめが細かい。
9. どうして水よりビールは量が飲めるか。  
水は大腸・小腸から吸収される。アルコール分は胃から吸収されるから。
10. 老化の一番わかりやすい定義とは。  
体内の水分量。幼児は80%以上。成人60%以上。老人50%。老人は水分を摂ること。

## 幹事報告

高橋裕之 幹事



1. 日台親善会議の報告受領(回覧)
2. 2016年規定審議会決定報告書受領(回覧)
3. 塩山RCより会報受領(回覧)
4. 地区大会記念誌受領(配布)
5. 金谷美術館より千住博展の案内受領(回覧)
6. 富津市国際交流協会より各種案内受領(回覧)
7. 県警だより夏号受領(配布)

8. 次年度の会員名簿の確認をして下さい(回覧)
9. 第2回富津市民花火大会の寄付をお願いいたします。

## 委員会報告

渡辺哲夫 副幹事



6月30日の最終例会で恒例のオークションをおこなう予定です。当日は皆さん各一品ずつ品物をお持ちよりください。

## 委員会報告(総括)

今週は千葉会長の指名により5名の各委員長から一年間を振り返ってのお話がありました。

石渡 鋼会員増強担当



一年を省みて

早いもので増強委員長を拝命して一年が経ちました。この委員会の重要さは今さら言うまでもなく、富津クラブが解散したとの報を聞けば他人ごとと思えず、会員増無くしてクラブ存続の問題の解決にはならないことが、身近にまた深く感じたところであります。委員長自身としての功績はと問われれば功ならず、千葉会長の期待に沿えなかったこと、お詫び申し上げます。他方、白石幸久会員、高橋幹事のお二人のおかげで、良い仲間を増やして頂き感

謝に堪えません。そのお陰様で結果的に2名の増強ができたことは、年初地区宛てに振りだした手形を落としたことになり、委員長としていつもながらの他力本願この上なく、喜びとするところで有ります。

渡辺 務会報担当



今年度の反省

会報委員の皆さんのおかげでここまでなんとか続けることができました。あと2回、いろいろ忙しいけど頑張ります。

榎本守男管理運営担当



今年度の反省

榎本 守男管理運営担当

管理運営は、プログラム、出席、親睦の3つの委員会を統括していますが、みんなが例会に出席して、その例会が活発で楽しいかどうかの評価の対象だと思っています。

プログラムでは、年度計画の100%をこなすことが出来ました。例会では会員各自事前準備を整え素晴らしい内容で卓話して頂きました。又、計画されたすべての活動に多くの会員に出席をしていただき盛り上げていただきました。

出席は、志波会報委員が月間出席100%の会員を赤枠で囲んで掲載して頂き励みになり、出席

率の向上に大いに貢献できたと思っています。

親睦は、きちんと企画され、品位ある懇親会を開催し、楽しく賑やかな時間を共有できました。思い出多い年度でした。皆様のご協力に感謝いたします。

高島 治雄奉仕担当



当委員会は職業奉仕(山田昌雄委員長)社会奉仕(三井進委員長)国際奉仕(大網庄一郎委員長)そして青少年奉仕(渡辺哲夫委員長)からなる広範囲な活動が求められます。

活動を焦点化し辛いところがありますが、各委員長のリーダーシップのもと職業奉仕では職業人としての理解を高める活動をすすめていただきました。また青少年奉仕では富津市における少年野球大会への助成並びに後援。書初め、英語コンテストへの後援、またRYLAへの理解啓蒙に努めてくれました。そして社会奉仕では従来の活動を見直し、三井委員長・平野委員のリーダーシップのもと、当クラブエリア内の3小学校、2中学校の計5校に地域美化の一環として「花いっぱい運動」を展開いたしました。具体的には5校に花(ペチュニア)の苗をプレゼントし、ロータリアンと子どもたちと一緒に花壇に花の苗を植える活動をいたしました。会員には花の苗代としてのニコニコBOX、植える作業のご協力をいただいたことに感謝します。またマザー牧場さんにも花の苗の選択から植える手順等にご協力いただき感謝します。今、美しく各校の花壇にペチュニアの花が咲いていることを報告いたします。終わりに当委員会の課題として地域社会のニーズをいかに吸いあげそれに応える活動を進めていくかの検討が必要だと考えます。尚、来年

度は財団の地区補助金の援助を受け更に市内全域の小中学校に花いっぱい運動を拡げてゆく計画がすすめられてゆくことと思います。

若鍋 武良ロータリー財団担当



「ロータリー財団」と「米山記念奨学会」は、会員の善意の寄付金をベースに基金を集め、慈善活動を行っています。年間の計画では、10月が米山で、11月がロ財団の強化月間になっています。

「米山記念奨学会」は、米山担当部長の須藤隆会員のご尽力により当初の計画通り実施されました。10月の米山月間中に米山奨学生による卓話を実施し、下旬には米山奨学記念館を見学しました。また、今年4月より韓国からの奨学生李俊享(イ・ジョンヒョン)さんを受け入れ、その世話クラブになっております。

ロータリー米山記念奨学事業は、約60年の歴史を持つ民間最大の奨学事業です。奨学生の人数は、累計で1万9千名を超え、出身国は2015学年度で世界123の国と地域に及んでいます。年間の奨学生採用数は、全国で約740名。2790地区における奨学生数は、26名です(新規20名と継続6名)。第4分区内の米山奨学生は、当クラブの他に、君津RCでベトナムからの留学生(継続)と、木更津RCにトルコからの留学生がおります。

米山奨学事業及び奨学生の使命は、留学生の優れた学業の達成を支援し、同時に、カウンセラーや世話クラブとの交流を通じ、ロータリーの精神を学び、国際理解を深め、日本と母国との架け橋となるなど国際親善に尽くす人材を育てることにあります。奨学生は、原則毎月1回はクラブの例会に出席し、卓話をする事になっています。また、クラブ

の親睦行事にも出来る限り出席することが求められています。

「ロータリー財団」は1917年のアトランタ国際大会で創設されまもなく1世紀を迎えようとしています。2年前よりフューチャービジョン「未来の夢計画」活動となり、4プロジェクトにまとめられています。即ち①地区補助金プログラム、②グローバル補助金プログラム、③平和フェロープログラム、④ポリオプラスプロジェクトの4つです。今後花の植栽を進めていくための地区補助金プログラムの活用が期待されます。

### 表彰状贈呈

千葉会長より会員3名に感謝状が贈られました。



白石会員、渡辺昇一会員、渡辺務会員と会長

### ニコニコBOX

原田雅式 親睦担当委員  
栗原典子 トンネルを抜けました。ベストスコア91  
大網庄一郎 ロイヤルC.C.で3年ぶり44・46＝90  
ができました。

白石幸久 感謝状をいただいて。

合計 3,000 円

### 出席報告

志波 克 出席担当部長

区分	会員数	出席	欠席	MUp	出席率
今回	27/26	22	4		84.62%
前回	27/25	22	3		88.00%
前々回	26/24	20	4		83.33%

総会員数 : 28名 - 休会1名 = 27名